

## 編集後記

★ 酷暑が続いています。6月から始まった異常な高温ですが、残暑は昨年10月を越えて11月でも辛い日々が続いているかもしれません。水分の補給が欠かさない状況で、歩く際は当然として、車を運転していても熱中症気味になります。

★ 自治医科大学では例年7月に市民公開講座を開いていますが、今年のテーマは「気候変動と健康リスクに備える」として循環器疾患や感染症などを取り上げましたが、参加者の関心は相当なものでした。「講演中も適宜水分補給をお願いします」のアナウンスが繰り返されていました。

★ この暑さは温暖化ではない、という悠長な意見も残っているようですが、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第6次評価報告書では、温室効果として二酸化炭素の排出が原因の7割を占め、さらに森林破壊などが加わったものとしています。森林の伐採や焼却は今に始まったわけではありません。古代ギリシャ・ローマでは周囲がはげ山と化したとされ、中国では殷・周の時代から明・清に至るまで繰り返された伐採によって砂漠化が広がり、洪水が慢性化したと言われています。平均気温の上昇スピードが急速になったのは18世紀後半

の産業革命以降で、産業革命前と比較して1.5℃の増加がリスク回避のカットラインと言われていました。危惧されていたのは2030年でしたが、5年前の今年に早くも1.5℃を超えそうな状況です。

★ 温暖化は生物全体に影響を与えています。この数年は南極の氷の減少により、皇帝ペンギンのコロニーでヒナの全滅がしばしば報告されています。ホッキョクグマは絶滅の危機にあります。2021年にはベーリング海で約100億匹のズワイガニが死滅したそうです。イギリス

や北海道ではサケの減少が著しくなっています。2月の日経新聞でも“放流された川に帰れなくなっているといい、「このままでは来世紀には日本のサケがいなくなる」と報道されました。

★ 海面の上昇による沿岸の水没や作物資源の減少、自然災害の増加など、影響が甚大になりつつあります。とくに作物不足による食料危機は深刻な問題になりそうです。代替タンパク質として以前から言われ

ているのが昆虫です。高タンパクなうえに、生産する際に発生する温室効果ガスは牛肉の1/10程度しかなく、一層の温暖化予防に重要です。さらに、ウシのゲップで問題視されているメタンを出しません。乾燥粉末化で加工食品や麺、パンにも利用が可能なのです。皆さん、ミールワームを食べる覚悟はできていますか？

(竹下克志)



Royal Whitman (1857~1946) 生田義和 画 2025-10



|    |       |      |      |      |      |       |
|----|-------|------|------|------|------|-------|
| 顧問 | 林 浩一郎 | 石井良章 | 中村孝志 | 高岡邦夫 | 長野 昭 | 四宮 謙一 |
|    | 岩本幸英  | 星野雄一 | 越智光夫 | 遠藤直人 | 大川 淳 |       |
| 編集 | 松田秀一  | 竹下克志 | 安達伸生 | 稲葉 裕 | 吉井俊貴 |       |

|        |                 |                      |               |
|--------|-----------------|----------------------|---------------|
| 臨床雑誌   | 整形外科            | 76巻・11号(10月号, 第925冊) | 2025年10月1日 発行 |
| 編集兼発行者 | 東京都文京区本郷三丁目42-6 |                      | 小 立 健 太       |
| 印刷所    | 東京都江東区亀戸七丁目2-12 |                      | 三報社印刷株式会社     |

|          |                                                                     |    |                  |                  |
|----------|---------------------------------------------------------------------|----|------------------|------------------|
| 発行所      | 〒113-8410 東京都文京区本郷三丁目42-6                                           | 編集 | TEL 03-3811-7619 | FAX 03-3811-8660 |
| 株式会社 南江堂 | <a href="https://www.nankodo.co.jp/">https://www.nankodo.co.jp/</a> | 営業 | TEL 03-3811-7239 |                  |

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著作者の権利は、(株)南江堂が保有します。

**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

広告申込所: 〒113-0033 東京都文京区本郷5-24-6 本郷大原ビル6階 文京メディカル TEL 03-3817-8036